

平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

文化芸術課

1 施設の概要等

施設名	広島県縮景園		
所在地	広島市中区上幟町 2-11		
設置目的	名勝庭園の保存と活用を図り，県民の福祉の増進に資する。		
施設・設備	池泉回遊式庭園，清風館，悠々亭，明月亭，売店，管理棟，駐車場等		
指定管理者	3期目	H24.4.1～H29.3.31	広島緑地建設・広田造園・イズミテクノの共同事業体
	2期目	H23.4.1～H24.3.31	(株)イズミテクノ ※県立美術館と一体管理
	1期目	H20.4.1～H23.3.31	(株)イズミテクノ ※県立美術館と一体管理

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	3期	28	250,000 人	277,829 人	35,090 人
27		230,000 人	242,739 人	29,597 人	12,739 人(105.5%)
26		215,000 人	213,142 人	△28,938 人	△1,858 人(99.1%)
25		200,000 人	242,080 人	32,127 人	42,080 人(121.0%)
24		190,000 人	209,953 人	39,616 人	19,953 人(110.5%)
2期23	200,000 人	170,337 人	△10,109 人	△29,663 人(85.2%)	
1期平均 20～22	195,000 人	180,446 人	13,249 人	△14,554 人(92.5%)	
(導入前)	—	167,197 人	—	—	
増減理由	夜桜，紅葉のライトアップの実施，特別展（大恐竜展）との連携企画や大型外国客船の入港により入場者数が増加し，目標値も達成した。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	お客様アンケートの実施	来園者から 168 件
施設利用終了報告書	利用団体 32 団体（清風館，明月亭）	
【主な意見】	【その対応状況】	
トイレが古い，汚い	消臭器を取り付け	
お茶会を増やして欲しい	にわかふえ回数増，オープン茶会 8 回実施	

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務報告書
	日報（必要随時）	○ 事故，苦情，お客様の要望 等
管理運営会議（3回・現地） （6/27，12/2，2/3）	【特記事項等】 ・施設の利用促進のための取組。	【指定管理者の意見】 ・県との連絡を密にし，効果的な利用促進を図る必要がある。 【県の対応】 ・指定管理者との連携を強化し，事業調整を行った。
現地調査 （7月，12月，2月に実施）		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	3期	28	41,143		0	料金 収入 (決算額)	3期	28
27			41,143	0	27	49,333			7,488
26			41,143	1,143	26	41,845			2,908
25			40,000	0	25	38,937			△889
24			40,000	△208,000	24	39,826			△26,561
2期平均		23	248,000	0	2期平均	23		66,387	△2,500
1期平均		20~22	248,000	72,460	1期平均	20~22		68,887	2,253
(導入前)		19	175,540	—	(導入前)	19		66,634	—

※23年度までは県立美術館と一体管理のため、両施設の金額を計上

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	41,143	41,143	0	
		料金収入	51,280	49,333	1,947	利用料金制(※1) 入園者数の増に伴う収入増
		その他収入	47,587	42,241	5,346	売店売上前年比 110%
		計(A)	140,010	132,717	7,293	
	支出	人件費	19,514	17,268	2,246	職員1名増(女性1名産休復帰)
		光熱水費	5,617	6,034	△417	電気代の節減
		設備等保守点検費	600	600	0	
		清掃・警備費等	23,378	24,150	△772	清掃費の節減
		施設維持修繕費	29,593	34,042	△4,449	一部直営による経費節減
		事務局費	18,602	18,008	594	入園チケット・パンフレット印刷増
		その他	23,703	20,961	2,742	売店原価, 売店人件費増
	計(B)	121,007	121,063	△56		
	収支①(A-B)		19,003	11,654	7,349	
	自主事業 (※2)	収入(C)	4,416	3,735	681	美術館連携企画「にわかふえ」の回数増に伴う収入増。昨年度は初期投資があり、支出は減となった。
支出(D)		7,076	9,700	△2,624		
収支②(C-D)		△2,660	△5,965	3,305		
合計収支(①+②)		16,343	5,689	10,654		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	高木整備や園路補修の道具を整備し、年間通じて自社社員で行うことでコスト削減を図った。	効果的な管理により景観の向上に取り組む等、施設の設置目的に沿った業務を行った。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	「にわかふえ」を特別展期間中全て実施した。同時に連絡通路受付を新設することで利用者の利便性の向上を図った。	利用者ニーズに応えた取組により利用者満足度の向上を図った。
	○業務の実施による、施設の利用促進	北側園路まわりの高木剪定、園路整備を行い、明月亭の利用促進を行った。(清風館が12月以降利用できないため)	工事により利用できない施設の代替施設を案内するため必要な整備を行う等、適切な利用促進に努めた。
	○施設の維持管理	12月～2月までの閑散期に園路補修、高木剪定の作業をスケジュール化する等、効率的な業務を行った。	利用状況に応じた作業スケジュールによる適切な業務を行う等、効率的・効果的な維持管理を行った。
管理の人的基礎	○組織体制の見直し	利用者の増加により、売店の作業が追いつかないため、契約社員を1名増加した。	利用者の状況に応じて、職員を増加しサービスの向上を図る等、適切な職員配置を行った。
	○効率的な業務運営	清掃作業員と樹木管理作業員が通常業務と合わせて簡易な補修作業を行う等、作業の効率化を図った。	業務内容に応じて作業の効率化を図る等、適切な業務運営を行った。
	○収支の適正	マスコミへの情報提供を的確に行い、大型企画時の取材が増えて、企画入園者の増加に繋がった。	広報を適切に行うことで利用者の増加を図り、収入の増加に繋がった。
総括		テレビの生中継やネットでの最新情報の提供、大型外国客船の来港等により外国人グループの入園者が増加した。 自社社員が補修工事を行う等、経費の削減に努めた。	美術館特別展入館者への特別割引による美術館から縮景園への入園を誘導したこと等により、対前年度と比べ入園者が増加(対前年度比114%)した。 直営で施設の補修を行う等、経費削減に努めた。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (平成29年度)	○美術館との一体的な管理運営による効果的、効率的な業務の推進。	○美術館との一体管理による両施設の特徴を組み合わせた企画や広報の強化充実。 ○庭園監修者と連携した庭園の魅力向上への取組の推進。
中期的な対応	○施設の経年劣化に伴う修繕の早期対応。 ○県や専門家と連携を図った計画的な維持管理業務の推進。	○美術館と縮景園の一体管理による庭園の魅力向上への取組の推進。 ○築庭400年(平成32年)に向け、庭園監修者と連携した庭園管理を行い、庭園の魅力向上を図っていく。